

地域別構想の検討

■ 地域別構想のとりまとめに向けて

(1) 地域別構想のアウトプットイメージ

<地域別構想とは>

- ・全体構想における将来像及び各テーマの方針・取組をもとに、その実現に向けた市内5つの地域における「地域づくりの目標（目標+方針図）」と地域における具体的な取組「地域づくりの基本方針」を整理したもの。
- ・各地域の「地域づくりの目標」や「地域づくりの基本方針」は、市民アンケート調査や地域別サロンにおける市民等の意見を反映するとともに、各地域で検討したことは全体構想にも反映させる。

<地域別構想の構成案>

1. 地域区分の設定
2. 内間木地域
3. 北部地域
4. 東部地域
5. 西部地域
6. 南部地域

<各地域の構成>

- (1) 地域の概要
- (2) 地域に関する評価
- (3) 地域づくりの目標

- ① 将来像（地域サロンにおけるまちづくりの5か条等の議論を踏まえ設定）

【コラム】地域サロンにおける地域づくりに対する意見

- ② 地域づくりの方針図（基本方針の内容を表現）

(4) 地域づくりの基本方針

- ① テーマ「私らしい暮らし」
- ② テーマ「にぎわい・活力」
- ③ テーマ「快適な移動」
- ④ テーマ「自然・環境」
- ⑤ テーマ「安全・安心」

※現行計画では分野ごとに整理されていたが、今回は「テーマごと」に整理するイメージ

<全体構想のうち地域の取組>

- ・特定の地域に限らず、市全体で取組ものは地域別構想には記載しない
- ・全体構想の取組のうち、地域の特定の場所で取り組むものなど地域の取組を整理する

<地域の取組>

- ・全体構想における各テーマの取組をベースとして、地域での具体的な取組を整理した。

緑文字：サロンで出された意見で全体構想に位置づけのある取組

青文字：サロンで出された意見で全体構想にない新たな取組

黒文字：全体構想に位置づけがある地域の取組

(2) 地域別構想の検討プロセス

<都市マス策定までのスケジュール>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
都計審		● 第8回			● 第9回		● 第10回			● 第11回
庁内検討委員会	● 第7回			● 第8回		● 第9回			● 第10回	

市民コメント
都市マス決定

<市民コメントまでの各会議での議題と確認事項>

都計審	【第8回】 ○地域別サロンの結果共有 ○2地域を対象とした地域別構想の検討 ・アンケートやサロンの結果から地域づくりの目標や基本方針へのプロセス・考え方を丁寧に整理 ・その上で、目標や基本方針が適切か、意見が反映されているかを確認	【第9回】 ○残り3地域を対象とした地域別構想の検討 ・アンケートやサロンの結果から地域づくりの目標や基本方針へのプロセス・考え方を丁寧に整理 ・その上で、目標や基本方針が適切か、意見が反映されているかを確認	【第10回】 ○地域別構想（案）の提示 ・前2回の意見が反映されているかの確認 ○全体構想の検討（市民コメント案） ・地域別構想の検討を踏まえ全体構想に反映した部分の共有 ・将来都市構造の更新内容の確認 ・実現に向けた役割分担、プロセスの確認
	【第7回（本回）】 ○地域別サロンの結果共有 ○2地域を対象とした地域別構想の検討 ・地域づくりの目標の設定 ・地域づくりの基本方針における取組の表現方法や過不足の確認 ○全体構想の検討 ・実現に向けた役割分担、プロセスの確認	【第8回】 ○残り3地域を対象とした地域別構想の検討 ・都計審の意見反映の確認 ・基本方針における取組の表現方法や過不足の確認 ○全体構想の検討 ・実現に向けた役割分担、プロセスの確認	【第9回】 ○地域別構想（案）の提示 ・都計審の意見反映の確認 ○全体構想の検討（市民コメント案） ・地域別構想の検討を踏まえ全体構想に反映した部分の共有 ・将来都市構造の更新内容の確認 ・実現に向けた役割分担、プロセスの確認

■内間木地域

(1) 地域の概要

- 当地域は本市の北東部に位置し、地域の北東側を荒川が、南西側を新河岸川が流れ、川にはさまれた荒川低地で構成されています。地域の北側は志木市市に、また、荒川をはさんだ東側はさいたま市と戸田市に接しています。
- 当地域の人口は平成7年以降減少し、令和2年の人口は平成7年の6割弱まで減少しており、5地域のうち最も少ないです。また、当地域の高齢者は総人口の半分以上占めており、高齢化率が5地域のうち最も高いです。
- 当地域の全域が市街化調整区域で、古くからの農地及び集落地となっており、他地域に比べ緑の多い田園風景が広がっています。地域の北側には、工業施設や倉庫などの土地利用がみられ、既存集落地との調和を図ることが求められます。
- 当地域を横断して、国道254号バイパスが計画されており、市内外からのアクセス性の向上を見据え、地域の活性化に資する沿道土地利用の促進が求められます。
- 計画規模降雨で、当地域は概ね全域が浸水想定区域となっており、その大半は浸水深が3.0m以上と想定されます。



(2) 地域に関する評価

良いところ	改善したいところ
<p>□: 現状によるもの ●: 地域別サロンによるもの ◎: 各種アンケートによるもの</p> <p>□農地と集落地が多くある地域であり、農地の保全を図りながら集落地における住環境の維持・改善が必要</p> <p>●権利者が多く、地縁が強い</p> <p>□●地域内に国道254号バイパスが計画されており、広域的な道路交通のポテンシャルが高い</p> <p>□●国道254号バイパスの整備による市内外からのアクセス性向上を見据え、地域の活性化を図るために沿道土地利用の促進が必要</p> <p>□●荒川近郊緑地保全区域を活かし、自然とふれあえる環境の整備が必要</p> <p>●農地や内間木公園など、緑が多く自然が豊か</p>	<p>□: 現状によるもの ●: 地域別サロンによるもの ◎: 各種アンケートによるもの</p> <p>□地域内に都市機能がほとんど立地しておらず、生活利便性が確保するために都市機能へのアクセスを確保することが必要</p> <p>●事業所が多い</p> <p>□●公共交通空白地域が多くみられ、その解消に向けた取組が必要</p> <p>●自宅からバス停まで遠い</p> <p>●トラックの走行による路面の早期劣化</p> <p>●大型トラックの走り抜けが怖い</p> <p>●○道路の幅員が狭く、歩道の整備が不十分</p> <p>□●計画規模降雨で想定される浸水深が3.0m以上のエリアが広くみられ、浸水被害に備えたまちづくりが必要</p> <p>●水害時の帰宅ルートの確保が困難</p> <p>●避難場所がない、避難の開始が遅い</p>

【地域全体】

良いところ

- 農地と集落地が多くある地域であり、農地の保全を図りながら集落地における住環境の維持・改善が必要
- 権利者が多く、地縁が強い
- 農地や内間木公園など、緑が多く自然が豊か

改善したいところ

- 地域内に都市機能がほとんど立地しておらず、生活利便性が確保するために都市機能へのアクセスを確保することが必要
- 事業所が多い
- 公共交通空白地域が多くみられ、その解消に向けた取組が必要
- 自宅からバス停まで遠い
- 大型トラックの走り抜けが怖い
- 道路の幅員が狭く、歩道の整備が不十分
- 計画規模降雨で想定される浸水深が3.0m以上のエリアが広くみられ、浸水被害に備えたまちづくりが必要
- 水害時の帰宅ルートの確保が困難
- 避難場所がない、避難の開始が遅い



5つのテーマ

暮 私らしい暮らし

賑 にぎわい・活力

移 快適な移動

環 自然・環境

安 安全・安心

2

凡例

□ 市街化区域

● 河川

□ 現状によるもの

● 地域別サロンによるもの

◎ 各種アンケートによるもの

(3) 地域づくりの目標（将来像）

将来像

サロンにおいて、災害や交通に対する安全・安心、公共交通の利便性、バイパスのポテンシャルを活かした沿道活用に対する意見が参加者の共通意見として出されていたことから、以下の将来像を設定しました

**安全・安心・利便性の確保に加え、バイパス整備のポテンシャルを活かした
住み続けたくなる・戻ってきたくなるまち**

地域別サロンで頂いた内容を将来像に反映

（コラム）地域別サロンにおける地域の特徴を表すキーワードとまちづくりの5か条（将来への想い）

○内間木地域の特徴を表すキーワード

- ・ みどり、交通の不便さ、川、内水、254号バイパス
- ・ 河川、事務所の多さ、車社会、浸水被害、地縁の強さ
- ・ 自然、芸術、254号バイパス、水害、内間木公園
- ・ 水害に弱い、自然が豊か、農地の減少、254号バイパス、交通環境の不便
- ・ 道路の浸水、トラックの走行による路面の早期劣化、人口の停滞、歩道整備が不十分 等

○まちづくりの5か条（まちづくりのテーマに対する将来への想い）

らしい暮らし

冠水・浸水対策をし、住み続けたくなるまち・戻ってきたくなるまち

地元を離れる人が多い、後継者が不足しているという課題が挙げられ、「住み続けたくなる」「戻ってきたくなる」には、冠水・浸水対策が必要不可欠であるという議論がされました。

にぎわい・活力

内間木公園の再整備 254号バイパス沿道の利用

内間木公園の再整備に対する期待の声が挙げられました。254号バイパス沿道の活用については、内間木地域以外の人も利用したくなる施設を整備することが賑わいの創出につながるという意見が出されました。

快適な移動

公共交通の利便性の向上

自宅からバス停まで遠いこと、バスに人が乗り切れないことが問題として共有されました。その改善策として、バスを毎日利用する人の数の把握やデマンドの活用など、計画的な対応を求める意見が挙げられました。

自然・環境

環境の整備（緑・景観・農地）

朝霞大橋や朝霞水門の景観や自然を将来に残すためには、「環境の整備」が必要だという意見が挙げられました。また、ライトアップなどすることによって地域外の人にも内間木地域の魅力的な景観に関心をもってもらいたいという意見も挙げられました。

安心・安全

歩道の安全を確保する (子ども～高齢者が安心して通れるように)

道幅の狭さや歩道の整備不足を理由に、子どもや高齢者の通行の安全性について懸念する意見が出されました。

■北部地域

(1) 地域の概要

- 当地域は本市の北側に位置し、地域の北側を新河岸川が、南側を黒目川が流れています。地域の北西側は志木市に接しています。
- 当地域の人口は平成7年以降増加が継続しており、令和2年に人口が3万5千人程度で、市内5地域のうち、南部地域に次ぎ2番目多いです。
- 東武東上線は当地域の南西側を走っており、JR武蔵野線は東武東上線と概ね垂直で当地域を横断しており、南西側に朝霞台駅（東武東上線）・北朝霞駅（JR武蔵野線）があります。駅の交通結節点としての機能強化、及び駅周辺における賑わいの創出が求められます。
- 当地域には旧逆線引き地区が1箇所あり、それは宮戸2丁目地区（約10.8ha）です。
- 当地域の東側では、計画規模降雨で想定される浸水深が3.0m以上ないし5.0mとなるエリアが広くみられ、宮戸地区では土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域と指定されているエリアもあります。また、当地域の西側において、宮戸3丁目や朝志ヶ丘地区は住宅密集地となっており、地震や火災が起きた際に建物が延焼するリスクが高いです。



(2) 地域に関する評価

良いところ	改善したいところ
□：現状によるもの ◎：各種アンケートによるもの	□：現状によるもの ●：地域別サロンによるもの ◎：各種アンケートによるもの
□地域内の人口密度は全体的に高く、良好な住環境が必要 ◎みどりが多く、住みやすい	□旧逆線引き地区があり、住環境の改善など、暮 地域特性に応じたまちづくりが必要 □延焼リスクの高い住宅密集地区があり、暮 安 防災機能の向上や住環境の改善が必要
●◎病院や児童館、図書館分館などの都市施設が立地しており、利用しやすい	□都市公園の利用誘致圏に含まれていないエリアが広く、子どもの遊び場や地域住民の交流の場の確保が必要
□朝霞台駅・北朝霞駅の乗降客数が多く、駅周辺における賑わいのある景観や魅力のある駅前空間の形成が必要	●朝霞台駅・北朝霞駅周辺の商店街では空洞化の進行がみられ、中心市街地の活性化が求められる ●道路が老朽化しており、歩道が狭い 移
◎市内イベントが多い	◎駅前の駐輪場・駐車場が不足 移
●野菜販売所や飲食店が多い	●駅前の駐輪場・駐車場が不足 移
●JR武蔵野線と東武東上線の2路線が利用でき、交通の便がよい	●自転車は通行しにくい場所がある 移
●駅や高速道路にアクセスしやすい	●バスの運行本数が少ない 移
●◎黒目川で四季の移ろいなど、自然が感じられる	□宮戸橋通りでは交通事故が多く発生しており、交通安全対策を講じることが必要 移

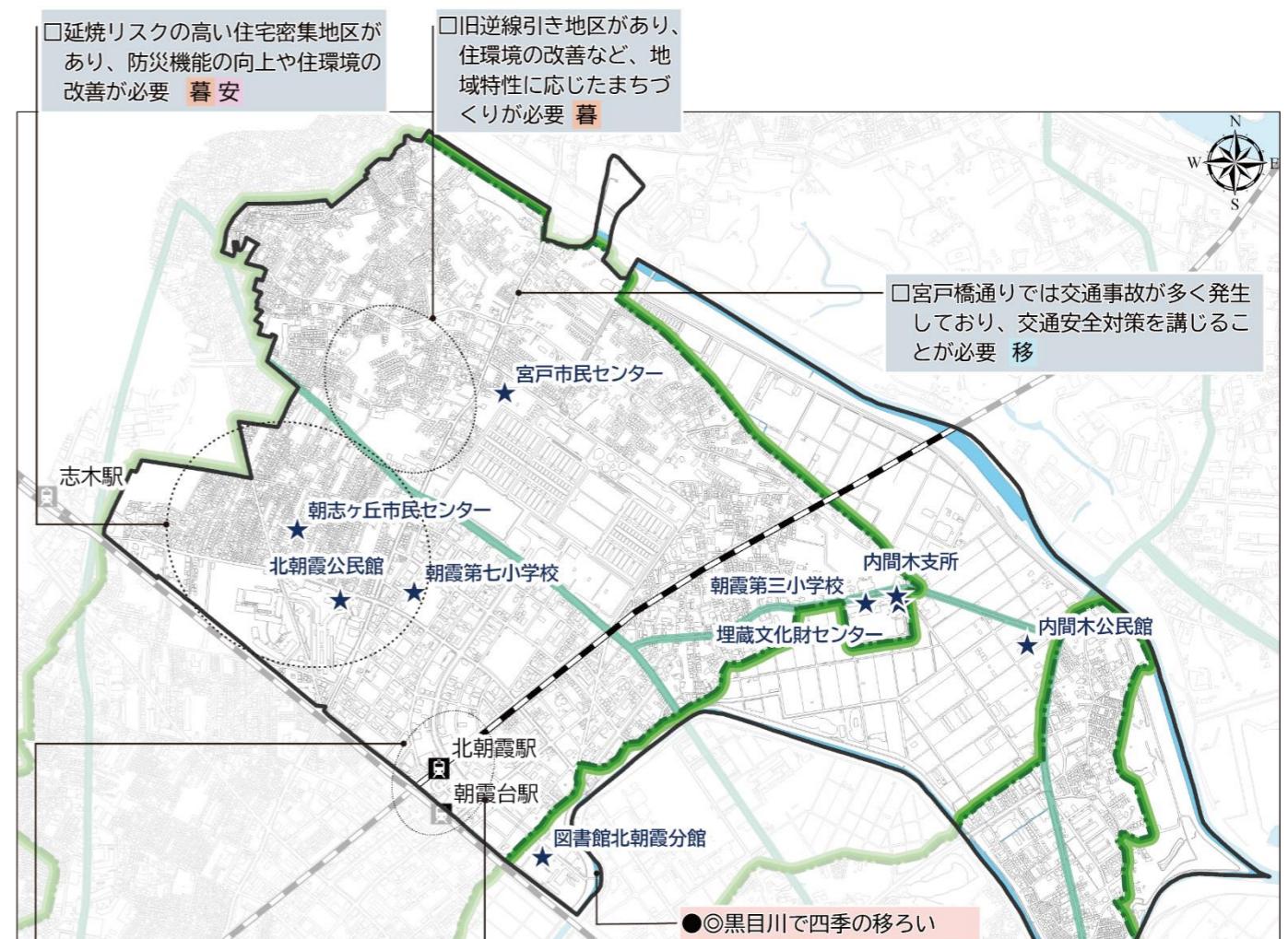
【地域全体】

良いところ

- 地区内の人口密度は全体的に高く、良好な住環境が必要 暮
- ◎みどりが多く、住みやすい 暮
- ◎病院や児童館、図書館分館などの都市施設が立地しており、利用しやすい 暮 賑
- イベントが多い 賑
- 野菜販売所や飲食店が多い 賑
- 駅や高速道路にアクセスしやすい 移

改善したいところ

- 都市公園の利用誘致圏に含まれていないエリアが広く、子どもの遊び場や地域住民の交流の場の確保が必要 暮 環
- 自転車走行用のスペースが不足 移
- ◎道路が老朽化しており、歩道が狭い 移
- 自転車は通行しにくい場所がある 移
- バスの運行本数が少ない 移
- 水害時に道路が水没される 安



5つのテーマ

- 暮 私らしい暮らし
賑 にぎわい・活力
移 快適な移動

- 環 自然・環境
安 安全・安心

凡例

- 現状によるもの
● 地域別サロンによるもの
◎ 各種アンケートによるもの

(3) 地域づくりの目標（将来像）

将来像

みどり豊かで愛着のある、人を中心の空間が充実した インクルーシブなまち

地域別サロンで頂いた内容を将来像に反映

（コラム）地域別サロンにおける地域の特徴を表すキーワードとまちづくりの5か条（将来への想い）

○北部地域の特徴を表すキーワード

- ・ 格差、シャッター、孤立、子供達、公園
- ・ 都净水場が目立つ、新河岸川が志木に比べ寂しい、黒目川が広々としている、住宅が密で通るのが難しい箇所がある、緑が減りつつある
- ・ 北朝霞駅の周りは賑わいがある、ほとんど住宅ばかり、歩道が少ない、駅以外は店が少ない、空き巣などが多い印象
- ・ JR と私鉄（東上線）、黒目川の自然、公園、野球場、飲食店が多い、密集地がある 等

○まちづくりの5か条（将来への想い）

暮らしの暮らし

若い世代を中心に選択肢が多い インクルーシブなまち

「浄水場と地域の共存（地域住民の利便性等に寄り添った浄水場のあり方）」に関する議論があったほか、買い物等の場面で「選択肢が多い」まちにしたいという意見が出されました。

にぎわい・活力

まちに愛着をもち 自らにぎわいを創出したいまち

朝霞市の名産である「ニンジン」を活用した（苗の配布、緑被率にちなんで「ニンジン率」を設ける等）賑わいづくりをする案や、市民が庭づくりを楽しむことによる賑わいづくりの案が出されました。

快適な移動

人が中心の 安全に移動しやすいまち

将来にわたり人口減少が見込まれることから、車両の通行が多少不便になったとしても、歩行者の通行の安全性やハンディキャップのある方々の安全性を高めるべきだという意見が多く出されました。

自然・環境

目に見えるみどりが 多いまち

屋上緑化等により緑被率（上空からみたみどり）を高めるのではなく、ゴミ集積所の緑化等、緑視率（目に見えるみどり）を高めていくべきだという意見が出されました。

安心・安全

犯罪にくく 災害時に逃げやすいまち

防犯活動に対する補助の拡充の要望があったほか、災害による危険度を可視化したいという意見が出されました。

■東部地域

(1) 地域の概要

- 当地域は本市の東部に位置し、地域の北側を黒目川が流れ、東端で新河岸川と合流しています。地形は川沿いの荒川低地と内陸部の武蔵野台地となっており、地域の南東側は和光市に接しています。
- 地域の西側を東武東上線が走っており、南側に朝霞駅があります。駅の交通結節点としての機能強化、及び駅周辺における賑わいの創出が求められます。
- 当地域の人口は平成7年以降増加が継続しており、令和2年には人口が27,000人程度で、東武東上線沿線に人口は集中している傾向がみられます。
- 当地域には旧暫定逆線引き地区が岡1丁目地区（約10ha）、根岸台2丁目地区（約14.9ha）、根岸台7丁目東地区（約8.9ha）、根岸台7丁目西地区（約8.6ha）、計4箇所あります。それら地区においては、住環境の改善が求められます。
- 当地域北側及び東側の市街化調整区域をはじめ、計画規模降雨で想定される浸水深が3.0m以上ないし5.0m以上となるエリアが広くみられるほか、根岸台・岡地区においては土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が指定されているエリアがあります。



(2) 地域に関する評価

良いところ	改善したいところ
□: 現状によるもの ●: 地域別サロンによるもの ◎: 各種アンケートによるもの	□: 現状によるもの ●: 地域別サロンによるもの ◎: 各種アンケートによるもの
□人口増加が継続しており、増加している人口を収容するために良好な住環境が必要 ●◎高い建物がなく、空が広い ●公民館や図書館など多世代が集まる場所がある ●静かな住宅地が形成しており、住みやすい ●駅近くにスーパーマーケットが複数あり、買い物が便利 ●大型商業施設（くまみちモール）があり、買い物が便利 ●イベントが多い ●畑や公園、斜面林など、緑が多い	□旧逆線引き地区があり、住環境の改善など、地域特性に応じたまちづくりが必要 ●商店のバリエーションが少ない □朝霞駅周辺の商店街では空洞化の進行がみられ、中心市街地の活性化が求められる □工業系用途地域において、操業環境を確保できるよう、適切な土地利用規制・誘導が必要 ●◎バスの便が少なく、公共交通で行き届かないエリアもある □◎自転車走行用のスペースが不足 ●◎歩道が少ない、歩道があっても狭い ●道路が狭く、見通しが悪い □朝霞駅周辺で交通事故が多く発生しており、交通安全対策を講じることが必要 ●カインズ周辺や未耕作の畑では砂埃がある ●密集地や道路が狭いところでの避難や延焼リスクが高い ●水害時のガード下への浸水や斜面地での土砂流出により、移動が制約
□高橋家住宅等の歴史的資源を活かした景観形成が必要 ●治安がよい	□高橋家住宅等の歴史的資源を活かした景観形成が必要 ●カインズ周辺や未耕作の畑では砂埃がある ●密集地や道路が狭いところでの避難や延焼リスクが高い ●水害時のガード下への浸水や斜面地での土砂流出により、移動が制約

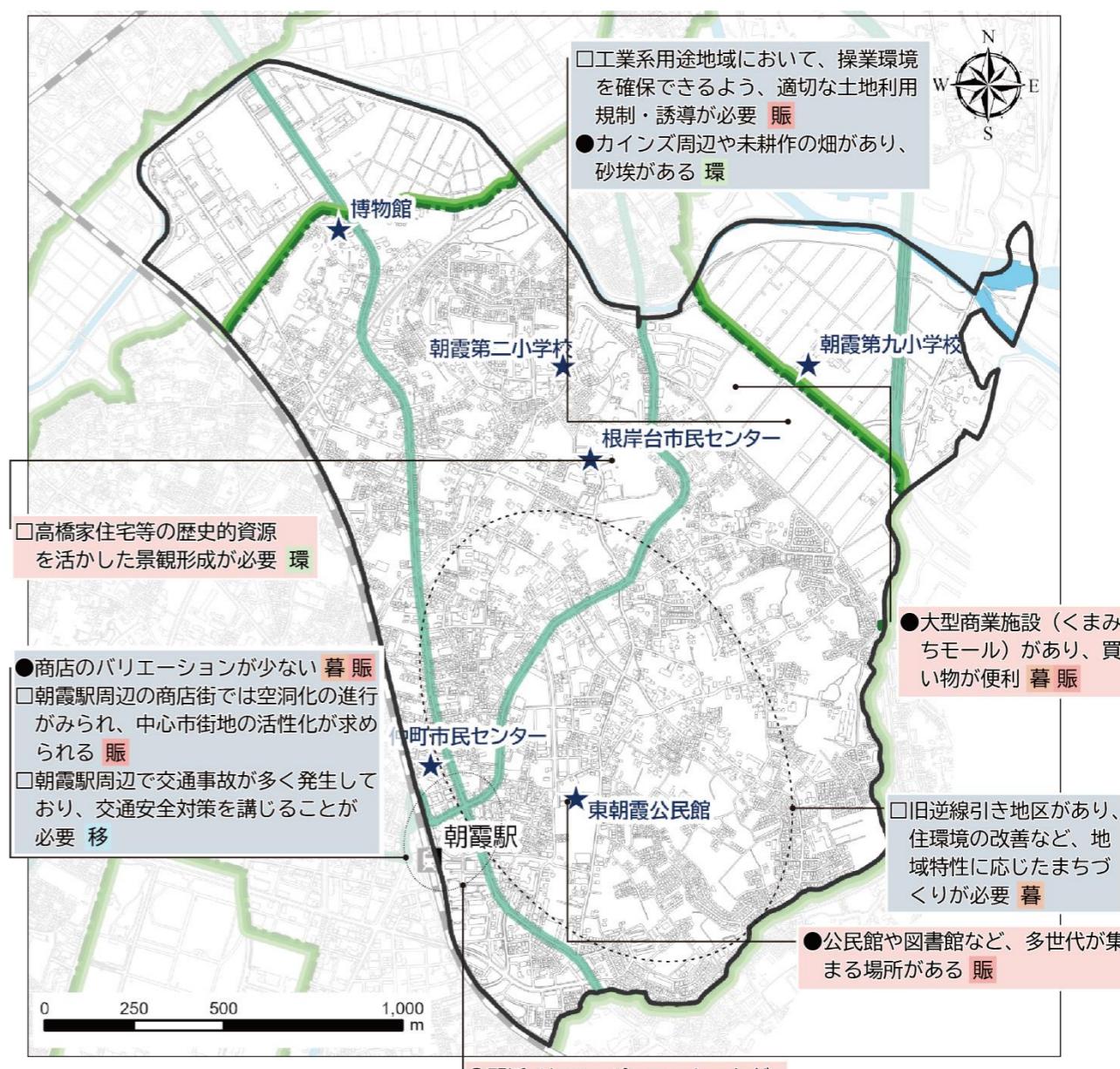
【地域全体】

良いところ

- 人口増加が継続しており、増加している人口を収容するために良好な住環境が必要
- ◎高い建物がなく、空が広い
- 静かな住宅地が形成しており、住みやすい
- イベントが多い
- 畑や公園、斜面林など、緑が多い
- 治安がよい

改善したいところ

- ◎バスの便が少なく、公共交通で行き届かないエリアがある
- ◎自転車走行用のスペースが不足
- 歩道が少なく、歩道があっても狭く、歩きにくい
- 道路が狭く、見通しが悪い
- 密集地や道路が狭いところでの避難や延焼リスクが高い
- 水害時のガード下への浸水や斜面地での土砂流出により、移動が制約



(3) 地域づくりの目標（将来像）
将来像

農地や斜面林等のある静かな居住環境と交通利便性を確保しつつ地域力を高め
拠点ではにぎわいと活力の創出によるメリハリのあるまち

地域別サロンで頂いた内容を将来像に反映

（コラム）地域別サロンにおける地域の特徴を表すキーワードとまちづくりの5か条（将来への想い）

○東部地域の特徴を表すキーワード

- ・ 静かな住宅、大型商業施設がある、バリエーションが少ない（商業）、道路が狭い
- ・ 駅近くにスーパーがたくさんある、買い物に便利、都内に出るのも楽（急行が止まる）
- ・ 黒目川、緑が多い（公園）、ビルがない、カーブミラー増やしてほしい、歩道が狭い 等

○まちづくりの5か条（将来への想い）

私らしい暮らし

居住環境を高めつつ
地域力も高める

自然や田畠が残る静かな居住環境を維持しつつ、生活利便性をより高めていくことが必要であること。加えて、地域のつながりも高めていくことが必要との意見が出されました。

にぎわい・活力

メリハリをつけて
にぎわいを創出

駅周辺や IC・バイパス周辺では商業や産業の活性化を計画的に進めつつ、既存の居住環境は維持していくよう、メリハリのあるにぎわい創出を図っていくことが必要との意見が出されました。

快適な移動

誰もが移動しやすい
環境の創出

道路が狭く、見通しが悪い道路が存在するなど、交通環境の確保が求められること。また、今後高齢化が進んでいく中でデマンドバスの導入など誰もが移動しやすい環境を整えていくことが必要との意見が出されました。

自然・環境

農地や斜面林等の地域資源の
維持・活用

農地や斜面林などの地域資源を適切に残していくためには、資源の活用を図るとともに、管理等の仕組みを整えていくことが必要との意見が出されました。

安心・安全

もしもに備えて
地域の防災をバージョンアップ

災害発生時だけでなく、その後の対応も含めた準備を整えておくことが必要との意見が出されました。

(4) 地域づくりの基本方針

■テーマ「私らしい暮らし」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①歩いて暮らせる駅近な地域づくり（バリアフリー対応／交通手段の確保／ルール作り 等）
- ②駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域づくり（交通利便性の高いバス路線の維持／選択できる移動手段の確保 等）
- ③利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり（自然と調和したまちなみの維持／生活道路の拡幅 等）
- ④みずとみどりに恵まれた穏やかな地域づくり（市街化調整区域での無秩序な開発抑制 等）
- ⑤市民サービスを支える広域型都市機能の充実（誘導施設の誘導／公共施設の集約化／国道254号バイパス沿道における取組の推進 等）
- ⑥地域生活を支える地域型都市機能の充実（都市機能の適正配置 等）
- ⑦既存の土地や建物を活用した柔軟な機能確保（既存ストックのリノベーション／空き家・空き店舗の利活用 等）【方針図の提案より】
- ⑧オープンスペースの創出と利活用（交流スペース等の整備／リノベーションによる新たな公共空間の創出／公園や広場の利活用 等）
- ⑩共創による新たな価値の発掘（官民連携による共創の場づくり 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

- ③利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり

A) 岡・根岸台地区における農地や斜面林等の残る静かな居住環境の維持

- ⑤市民サービスを支える広域型都市機能の充実

B) 黒目川周辺の市街化調整区域における利便性の高い公共施設の維持集約化を図りつつ、東部地域への人の流れを生み出すまちづくりの推進

C) 農業や自然を守りつつバイパスのポテンシャルを活かす

- ⑧オープンスペースの創出と利活用

D) 朝霞駅東口の駅前広場などの道路空間を活用したイベントの実施【方針図の提案より】

- ⑨私らしく働く場、活躍できる場の確保

E) 朝霞駅周辺における空き家、空き店舗などの既存ストックを活用した、コワーキングスペース等の働く場や、ローカルビジネスやスタートアップ企業を育てる場の創出

- ⑩共創による新たな価値の発掘

F) 大学との連携強化

【新たな視点】

大学から病院等、公共公益施設から地域へ波及、連携

緑文字：サロンで出された意見で全体構想に位置づけのある取組

青文字：サロンで出された意見で全体構想に位置づけない新たな取組

黒文字：全体構想に位置づけがある地域の取組

■テーマ「にぎわい・活力」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①朝霞駅周辺の活気あるまちづくり（イベントの企画者の発掘・育成 等）
- ③誰もが楽しく歩ける空間の整備（駅周辺のベンチの整備／バリアフリー化と交通結節機能強化 等）
- ④工業系地域における、居住環境にも配慮した生活環境の確保（地区計画による建物用途の制限／緩衝緑地等の整備、用途地域の見直し 等）
- ⑤企業と住民で共につくる地域経済の活性化（企業と地元住民の交流支援 等）
- ⑦新たな産業機能の導入（大規模工場跡地の適正な位置／魅力ある産業の誘致 等）

<地域の取組（取組場所が特定されるもの）>

①朝霞駅周辺の活気あるまちづくり

A) 朝霞駅周辺の駅前広場等の公共空間を活用したイベントの実施【方針図の提案より】

③誰もが楽しく移動できる空間の整備

B) 朝霞駅周辺では一方通行や歩行者専用化等の交通規制の導入やバリアフリー化等により誰もが楽しく歩ける空間の形成

C) 朝霞駅周辺では既存ストックを活用した都市機能の充実とアイレベルのオープン化による歩いて楽しい空間の創出

⑥広域幹線道路沿道の特性を生かした産業用地の創出

D) 国道254号バイパス沿道ゾーンでは、整備と合わせた産業や商業施設の誘致など、沿道の土地利用の促進を図る。沿道利用の際には、都市計画等の制度を活用し、防災・減災、農地・自然環境の保全、地域活性化との調和のとれた適切な土地利用を推進

【新たな視点】

駅周辺以外の高齢者の居場所づくり

■テーマ「快適な移動」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①幹線道路の整備（都市計画道路や主要幹線道路の整備／長期未整備都市計画道路の計画の見直し 等）
- ②既存道路の改良（既存道路や橋梁の適切な維持管理／交通実態に合わせた道路や交差点の改良 等）
- ③自転車で走りやすい道づくり（自転車通行空間の整備 等）
- ④安全で生活できる身近な道づくり（生活道路の整備／交通安全対策／自転車の乗り方のルールの普及・啓発 等）
- ⑤子どもの未来を守る通学路づくり（通学路における安全対策の充実／歩道橋の維持管理／学校と連携した交通ルールの教育 等）
- ⑥荷捌きと駐車場の適正化（荷捌きスペースの確保／駐輪場や駐車場の適正配置 等）
- ⑦どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実（地域公共交通の充実／シェアサイクル等の目的地までの最後の区間を補う交通手段の確保／シェアサイクルポートの設置に向けた官民連携 等）
- ⑧誰もがつまづかないで通れる道づくり（バリアフリー化／ユニバーサルデザイン化 等）
- ⑨人を中心の歩きたくなる道づくり（まちなかベンチの設置／ポケットパークの整備／木陰のある道・休憩施設の整備 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

①幹線道路の整備

A) 都市計画道路である岡通線及び駅東通線の整備による幹線道路ネットワークの強化【方針図の提案より】

②既存道路の改良

B) 駅ロータリーでの公共交通と一般車のすみ分け

④安全に生活できる身近な道づくり

C) 朝霞駅へのアクセスルートの安全性の向上【方針図の提案より】

D) 鉄道横断の充実による東西方向の連携強化

E) 交通安全対策と交通規制の組み合わせ

F) 片側だけでも歩道を確保するなど歩道のネットワークを強化

⑤子どもの未来を守る通学路づくり

G) 朝霞第二小学校及び朝霞第九小学校周辺の通学路では、住宅地でも交通安全対策や交通規制を組み合わせ、安全に通行できる環境を整える

⑦どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実

H) 根岸台地区においては隣接する和光市との連携による交通・福祉の運用としてコミュニティバス等の公共交通のルート再編により、誰もが移動しやすい環境の形成【方針図の提案より】

⑨人を中心の歩きたくなる道づくり

I) 駅周辺での一方通行化や歩行者専用化など、時間や曜日での交通規制の検討

J) 駅周辺でのアイレベルのオープン化により歩いて楽しい空間の創出【方針図の提案より】

■テーマ「自然・環境」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①環境配慮の視点からも選択できる移動手段の確保（地域公共交通の利用促進／環境にやさしいモビリティの選択肢の確保 等）
- ②環境にやさしい公共空間の整備（公共施設の屋上・壁面緑化／グリーンインフラの考え方を取り入れた公共空間の整備 等）
- ③環境にやさしい住宅の整備促進（創エネ・省エネ設備の整備促進／長期優良住宅の認定 等）
- ④生き物が集うみずとみどりの保全（公園の水・緑の維持管理／緑地や斜面林の保全／湧き水や河川の維持管理／河川敷の整備、植栽の維持管理／特定生産緑地の指定などによる生産緑地・農地の維持 等）
- ⑤みず・みどりを育てる（公共空間における花壇づくり／水と緑のネットワークの形成 等）
- ⑥みず・みどりの普及（緑・河川を生かしたイベントの実施／生垣設置の奨励／開発事業等における緑化指導／住民等が関わることができる仕組みづくり／民間活力の活用／ 等）
- ⑦協働による景観づくり（景観についての啓発 等）
- ⑧みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導（景観計画の運用／景観ガイドラインの作成 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

④生き物が集うみず・みどりの保全

- A) 岡・根岸台地区に残る農地や斜面林等の地域資源の保全や適切な維持管理、活用を図る仕組みづくりを公民連携により検討
- B) 岡・根岸台地区に残る農地を市民農園にする等、農業に関わることができる仕組みづくり
- C) 農業の高付加・価値化や法人化、販売ルートの開拓に向けた支援

⑧みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導

- D) 黒目川沿いにおいては、景観づくり重点地区の指定により良好な自然環境の保全・利活用を図る

■テーマ「安全・安心」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

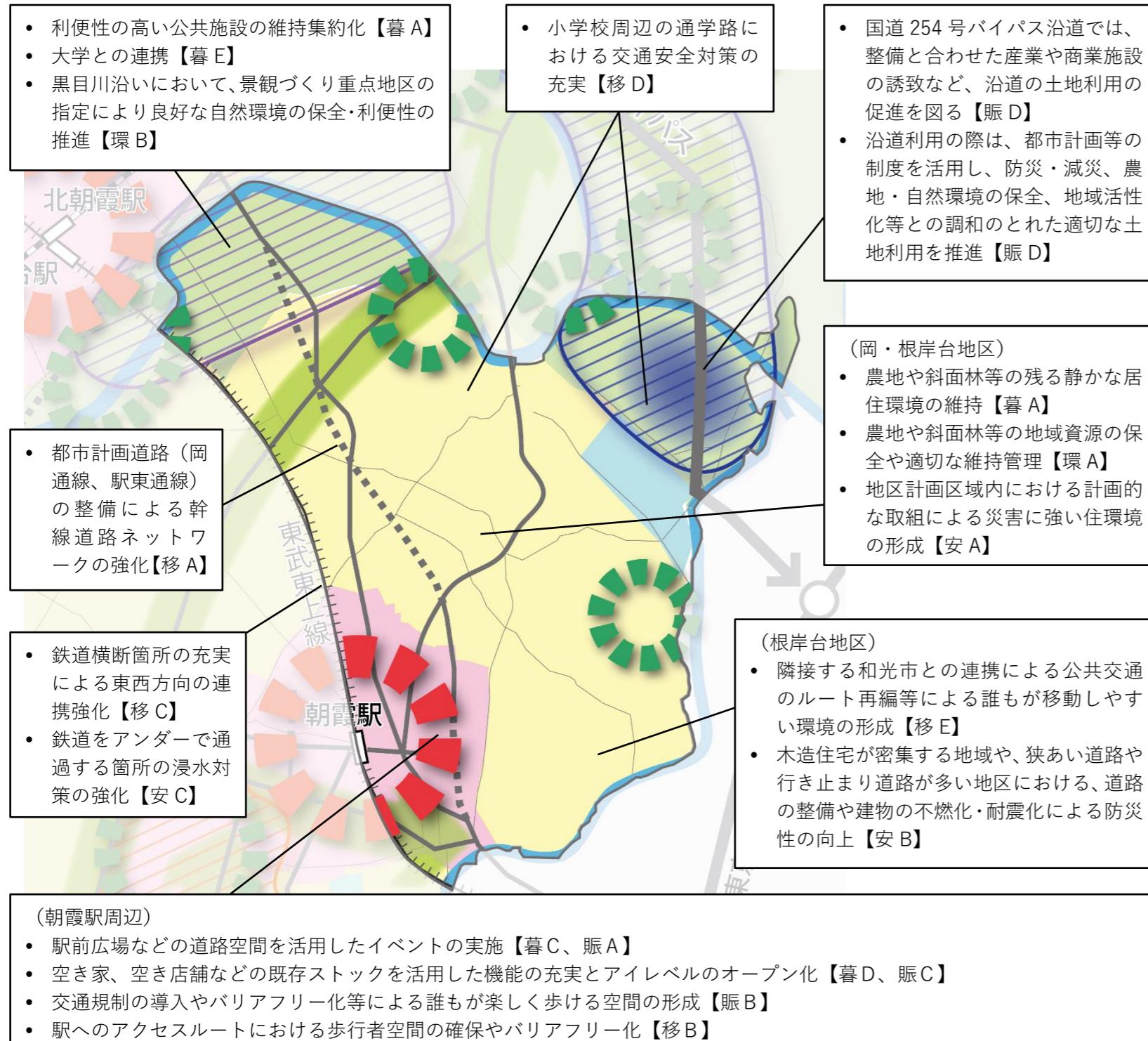
- ①災害のおそれのある地区からの脱却（災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導／災害リスクの低減等）
- ②インフラの強化（上下水道施設の更新・耐震化／道路や橋梁の更新・長寿命化 等）
- ③災害に強い住環境への改善（オープンスペースの創出／防火地域の指定／住宅の耐震化の促進 等）
- ④発災時の核となる防災拠点の形成（震災や水害に対応した避難場所の機能確保 等）
- ⑤避難・救助しやすい道づくり（避難経路の確保／消防車、救急車が通ることができる道路の整備 等）
- ⑥物資や人を運びやすい道づくり（緊急輸送道路の整備／緊急輸送道路の無電柱化の促進 等）
- ⑦日常から災害に備えるまちづくり（情報の周知／災害時を考慮したベンチ等の導入 等）
- ⑧犯罪の芽を摘む死角のない環境づくり（照度の確保／見通しの向上／空き家の解消／防犯カメラの設置等）
- ⑨自助・共助の体制強化（顔の見える関係づくり／防災まちづくりの推進／地域コミュニティでの連携促進等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

③災害に強い住環境への改善

- A) 岡1丁目、根岸台2丁目、根岸台7丁目東、根岸台7丁目西地区の地区計画区域内においては、計画的な道路整備や壁面の位置の制限、準防火地域への適用等による災害に強い住環境の形成
- B) 根岸台1～4丁目、8丁目など木造住宅が密集する地域や、狭い道路や行き止まり道路が多い地区については、道路などの基盤の整備を進めるとともに、建物の不燃化、耐震化などの防災性の向上を促進し良好な住宅市街地の形成を誘導
- C) 鉄道をアンダーで通過する箇所における大雨等による浸水対策の強化

地域づくり方針図（現時点案であり本日のご意見を踏まえ、次回に向けてブラッシュアップします）



凡 例

[拠点]	[ゾーン]	[広域交通軸]	[みずとみどりの軸]
都市拠点	歩いて暮らせるウォーカブル 推進モデルゾーン	基地跡地地区 地区計画ゾーン	水の軸
水と緑の拠点	住居系ゾーン 産業系ゾーン 自然空間保全ゾーン	医療と福祉と 教育の拠点ゾーン 国道254号 バイパス沿道ゾーン 地域活性化の 中心となるゾーン	緑の軸

[地域交通軸] 道路

整備済

未整備

■ 西部地域

（1）地域の概要

- ・当地域は本市の西部に位置し、地域の東側を黒目川が流れています。地域の西側は新座市に接しています。
 - ・東武東上線は当地域の北側を走っており、JR 武蔵野線は東武東上線と概ね垂直で当地域を横断しており、北東側に朝霞台駅（東武東上線）・北朝霞駅（JR 武蔵野線）があります。駅の交通結節点としての機能強化、及び駅周辺における賑わいの創出が求められます。
 - ・当地域の南部に工業系用途地域が指定されていますが、工場と住宅が混在しているエリアもみられ、適切な土地利用を図る必要があります。
 - ・当地域は東側の市街化調整区域を中心に、計画規模降雨で 3.0m 未満の洪水浸水が想定されるほか、泉水、膝折町では土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域が指定されているエリアがあります。また、三原地区では住宅密集地となっており、地震や火災が起きた際に建物が延焼するリスクが高いです。



（2）地域に関する評価

良いところ		改善したいところ	
□：現状によるもの	●：地域別サロンによるもの	□：現状によるもの	●：地域別サロンによるもの
◎：各種アンケートによるもの		◎：各種アンケートによるもの	
□地域内の人団密度は全体的に高く、良好な住環境が必要	暮	□●延焼リスクの高い住宅密集地区があり、防災機能の向上や住環境の改善が必要	暮 安
●駅周辺に都市機能が集中し、生活が便利	暮 脈	□●都市公園の利用誘致圏に含まれていないエリアが広く、子どもの遊び場や地域住民の交流の場の確保が必要	暮 環
◎季節のイベントが楽しい	脈	●集会用の公共施設が少なく、建築物も老朽化している	暮
●本田工場がある	脈	●町内会が高齢化・縮小化している	暮
□朝霞台駅・北朝霞駅の乗降客数が多く、駅周辺における脈わいのある景観や魅力のある駅前空間の形成が必要	脈	□●朝霞台駅・北朝霞駅周辺の商店街では空洞化の進行がみられ、中心市街地の活性化が求められる	脈
●○鉄道2路線が利用可能で、都内へのアクセスが良い	移	□工業系用途地域においては、住宅用地の面積は工業用地と概ね同程度となっており、土地利用の混在がみられ、産業生産性を確保するために、工業系用途地域における適切な土地利用規制・誘導が必要	脈
●○黒目川河川敷の景観など、自然が残されるよう、美しく整備されている	環	●駅までは遠く、バスの便が少ない	移
		●○道路が狭く、行き止まりの道路も多い	移
		●歩道が狭い	移
		□三原通の交差点付近では交通事故が多く発生しており、交通安全対策を講じることが必要	移
		●水害リスクがある	安

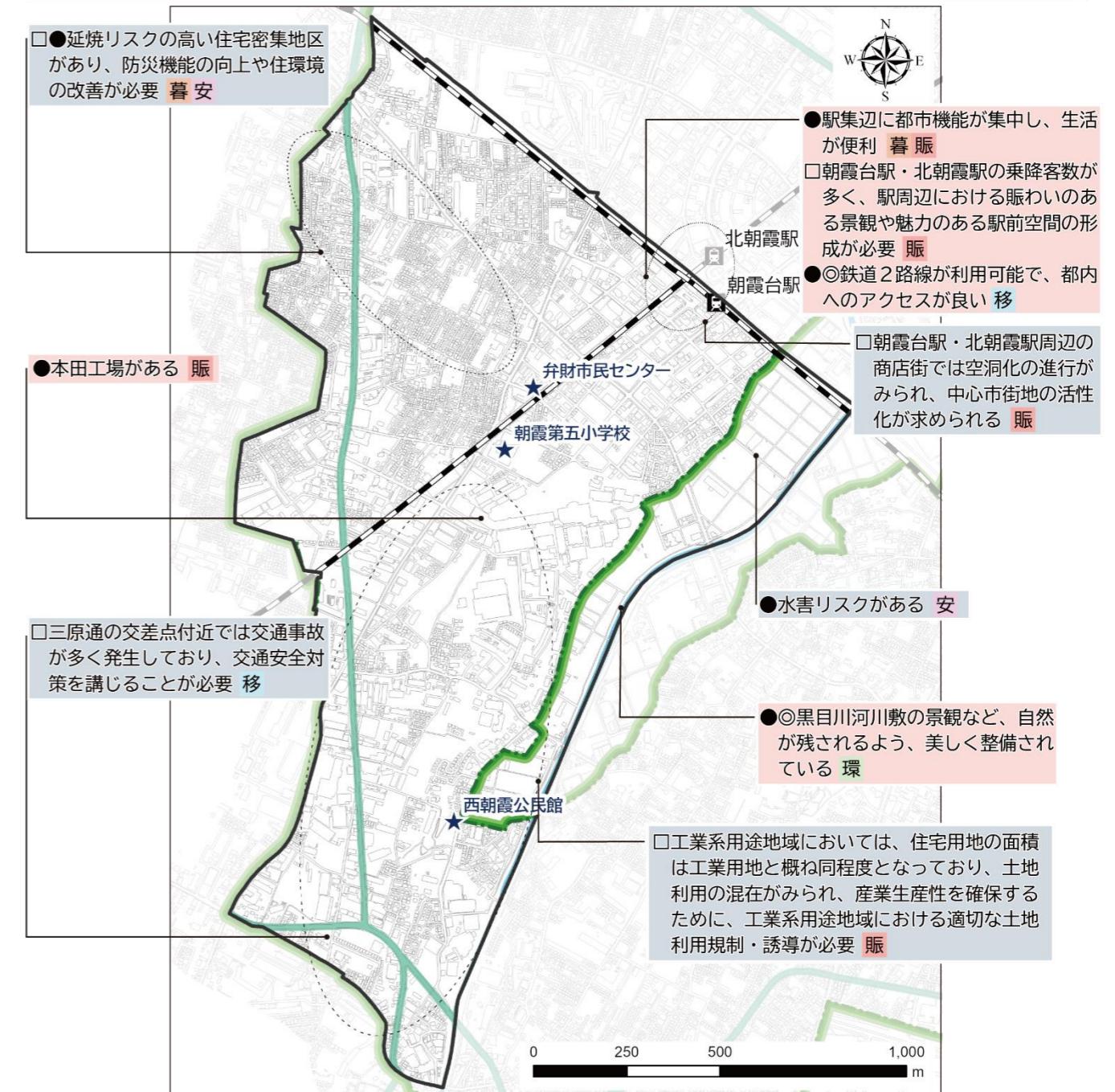
【地域全体】

良いところ

- 人口増加が継続しており、増加している
人口を収容するために良好な住環境が
必要 暮
◎季節のイベントが楽しい 賑

改善したいところ

- ●都市公園の利用誘致圏に含まれていないエリアが広く、子どもの遊び場や地域住民の交流の場の確保が必要 □ ◎自転車走行用のスペースが不足 **暮 環**
 - 集会用の公共施設が少なく、建築物も老朽化している **暮**
 - 町内会が高齢化・縮小化している **暮**
 - 駅までは遠く、バスの便が少ない **移**
 - ◎道路が狭く、行き止まりの道路も多い **移**
 - 歩道が狭い **移**



5つのテーマ

暮 私らしい暮らし

賑 にぎわい・活力

移 快適力移動

5つのテーマ

暮 私らしい暮らし 環 自然・環境

賑 にぎれい：活力 安 安全・安心

移動力・快適な移動

凡例

□ 市街化区域 □ 現状によるもの

— 河川 地域別サロンによるもの

幹線道路 ◎ 各種アンケートによるもの

(3) 地域づくりの目標（将来像）

将来像

サロンにおいて、地域周辺に立地する企業や商店と住民、住民同士のつながりが、地域の安全・安心やにぎわいにつながっていくのではないかとの意見を踏まえ、以下の将来像を設定しました。

住民や企業、商店など、地域コミュニティの連携・強化により 安全・安心でにぎわいのあるまち

地域別サロンで頂いた内容を将来像に反映

（コラム）地域別サロンにおける地域の特徴を表すキーワードとまちづくりの5か条（将来への想い）

○西部地域の特徴を表すキーワード

- ・ 密集、マンション、歩道がない、道路が行き止まり、公園がある（小規模の）、緑、乗降客、畠、子ども、ホンダ、交通安全
- ・ 自然、公園、交通、食
- ・ 建物が密集しており空が狭く感じる、道路が狭い、緑が少ない 等

○まちづくりの5か条（将来への想い）

暮らしのまち

コミュニティスペース 複合化

公民館、児童館などコミュニティの場が提供されるほか、子どもが遊べる自由広場も整備すること。また、図書館などの施設を整備する際に、富士見市のように、フリースペースも用意してほしいとの意見がありました。

にぎわい・活力

地元農産品の即売場 レストラン等のマルシェ

空き店舗の活用を推奨し、個人商店で会話しながら買い物ができる商店街をつくること。また、地元の農家が作った農産物を味わえる・買える機会の創出が必要との意見もありました。

快適な移動

バスだけでなく移動手段の多様化

通勤・通学者と高齢者の公共交通に対する需要が異なるため、年代別の需要に対応するよう公共交通を整備すること。加えて、定時運行しないバスなどの活用により、全体的な利便性を向上するとの意見がありました。

自然・環境

桜並木の維持・植樹

昔植えた桜の木が「高齢」になり、倒れる危険性があるため、桜並木の維持を図り、計画的に植替えを図ること。

安心・安全

交通安全（歩道、道幅）と 浸水リスクと密集市街地リスク

道路が狭く、歩道がないなど、交通安全の確保が求められること。また、地域により浸水リスクがあるため、安全対策を図ることも求められました。

■南部地域

(1) 地域の概要

- ・当地域は本市の南部に位置し、地域の西側から北部を黒目川が流れています。地域の西側は新座市、南東側は和光市、南側は東京都練馬区に接しています。
- ・当地域の人口は平成7年以降増加が継続しており、令和2年に人口が5万人程度で、市内5地域のうち最も多です。
- ・東武東上線が東側を走っており、南東側に朝霞駅があります。駅の交通結節点としての機能強化、及び駅周辺における賑わいの創出が求められます。
- ・当地域の中央に基地跡地があり、朝霞市立地適正化計画においては都市機能補完ゾーンと位置付けられており、朝霞駅周辺の都市機能誘導区域と連携・補完し、官民連携による公共空間の活用を軸とした賑わい創出への取組が求められます。
- ・当地域には市役所をはじめ、中央公民館、図書館、総合体育館などの広域的な機能を有する公共施設が立地するほか、医療、商業、子育てなどの都市機能も多く立地しており、都市機能が充実しています。
- ・当地域では洪水、土砂災害などの水災害のリスクは他の地域より少ないですが、幸町、栄町、本町では住宅が密集しているエリアがあり、地震や火災が起きた際に建物が延焼するリスクが高いです。



(2) 地域に関する評価

良いところ	改善したいところ
□: 現状によるもの ◎: 各種アンケートによるもの	□: 現状によるもの ●: 地域別サロンによるもの ◎: 各種アンケートによるもの
□人口増加が継続しており、増加している人口 暮 を収容するために良好な住環境が必要	□延焼リスクの高い住宅密集地区があり、 暮 安 防災機能の向上や住環境の改善が必要
◎お祭り、イベントが多くてよい 賑	●駅以外に住民が集会できる場所がない 暮 賑
●都市機能が揃っており、生活しやすい 暮 賑	●保育園が少ない 暮
◎市民団体の活動が活発で、生き生きしている 賑	●街なかにイス（ベンチ）の設置が求められる 暮
●膝折宿などの地域固有の歴史を持つ場所がある	□●朝霞駅周辺の商店街では空洞化の進行がみられ、中心市街地の活性化が求められる 賑
□基地跡地があり、地域特性に応じたまちづくりが必要 賑	●高齢者向けに、コミュニティバスの代替となる交通手段が求められる 移
□地域内に幹線道路の国道254号が通過し、近隣の和光ICとも接続しており、広域的な交通ポテンシャルが高い 賑 移	●○歩道が少ない、歩道があっても狭く、歩きにくい 移
●交通の要衝となっており、人の流動も多い 賑 移	●運転手不足により、バスの利便性が低い 移
●けやき通りと基地跡地の森があり、みどりが豊か 環	○自転車専用道路がない 移
	□朝霞駅周辺や主要道路で交通事故が多く発生しており、交通安全対策を講じることが必要 移
	●町内会の防災体制が十分ではない 安

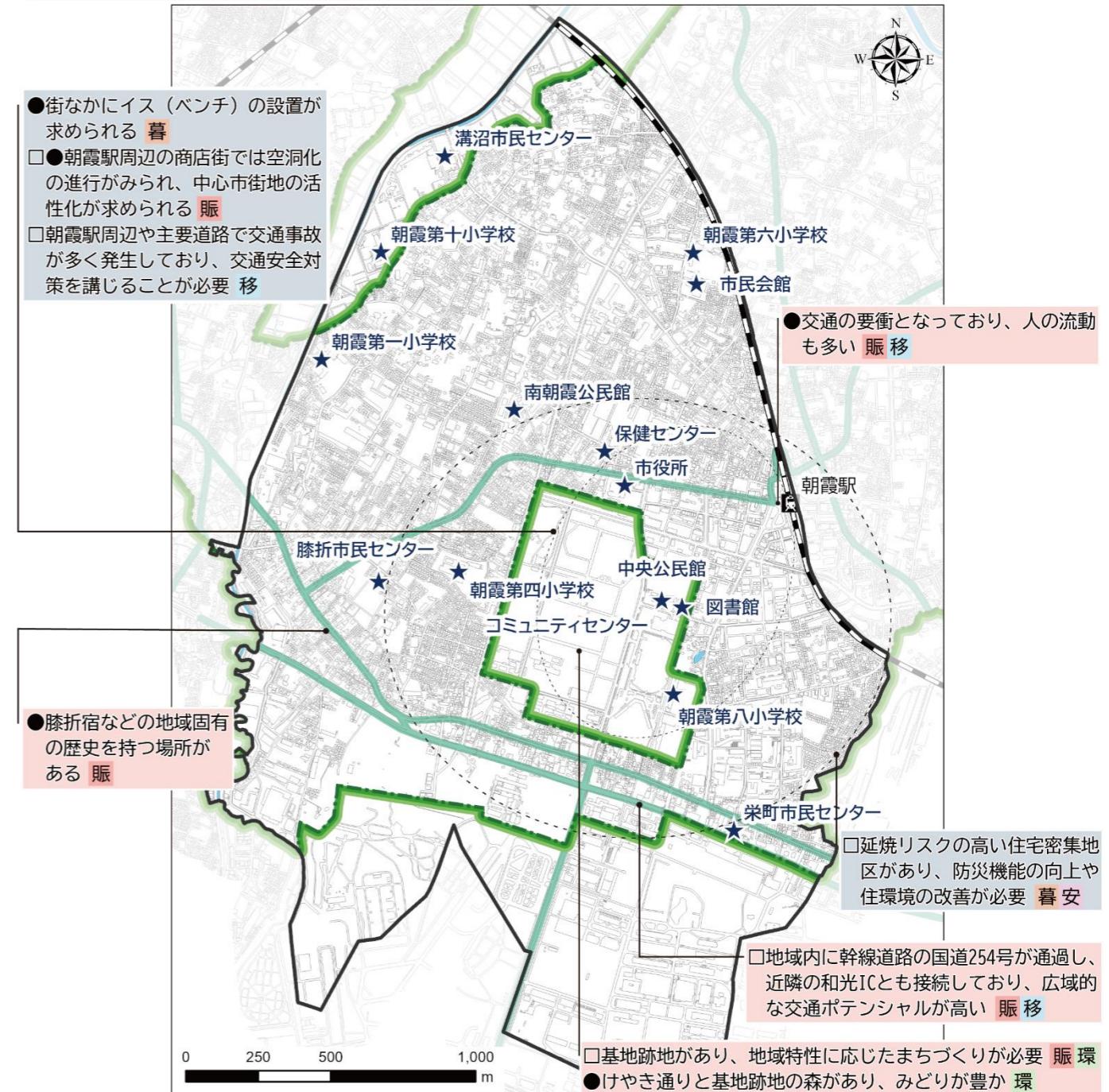
【地域全体】

良いところ

- 人口増加が継続しており、増加している人口を収容するために良好な住環境が必要 **暮**
- ◎お祭り、イベントが多くてよい **賑**
- 都市機能が揃っており、生活しやすい **暮** **賑**
- ◎市民団体の活動が活発で、生き生きしている **賑**

改善したいところ

- 駅以外に住民が集会できる場所がない **暮** **賑**
- 保育園が少ない **暮**
- 高齢者向けに、コミュニティバスの代替となる交通手段が求められる **移**
- 歩道が少なく、歩道があっても狭く、歩きにくい **移**
- 運転手不足により、バスの利便性が低い **移**
- 自転車専用道路がない **移**
- 町内会の防災体制が十分ではない **安**



5つのテーマ

暮 私らしい暮らし

賑 にぎわい・活力

移 快適な移動

環 自然・環境

安 安全・安心

現状によるもの

凡例

□ 現状によるもの

● 地域別サロンによるもの

◎ 各種アンケートによるもの

(3) 地域づくりの目標（将来像）

将来像

サロンにおいて、南部地域は朝霞の中心としてまちづくりを牽引する役割を担っていること、緑や歴史等の地域資源の魅力を活かしていくことが必要であるとの意見より、以下の将来像を設定しました。

あさかの中心としてにぎわいを牽引しつつ 緑や歴史、地形などの地域資源を活かした楽しいまち

地域別サロンで頂いた内容を将来像に反映

（コラム）地域別サロンにおける地域の特徴を表すキーワードとまちづくりの5か条（将来への想い）

○南部地域の特徴を表すキーワード

- ・ コンパクトシティ、あさかセントラルパーク、みどりとみずのある街、歩きたくなる街、NY. Paris. Asaka
- ・ ファミリー、子ども多い、公共施設多い、駅のにぎわい、都市と自然の融合
- ・ けやき通りと跡地（森）、宿場町と歴史
- ・ 坂、駅近のみどり、マンション、新旧（住、工、商、人）
- ・ 自然、歴史、朝霞市の中心（公共的）、環境の良さ、住宅地
- ・ 公園、ファミリー世帯、住宅多い、緑あり+生活しやすい 等

○まちづくりの5か条（将来への想い）

私らしい暮らし

子どもから高齢者、障がい者も
安心して暮らせる環境づくり

比較的子どもが多くファミリー世帯が暮らしやすい反面、坂が多くて高齢者が暮らせるのは元気なうちだけ、といった議論から、どの世代・属性の方々にとっても暮らしやすいまちを目指すこととしました。

快適な移動

高齢化に対応した
持続可能な移動手段の確保

高齢者にとって移動手段は必須だが将来的にも持続可能な公共交通にしなければならないといった課題から、住民もバスにあえて乗らなければ残せない、自動運転などの技術を活用する、などの意見がありました。

安心・安全

狭いみちでも安全で、
いざというときにも安心

道が狭い、歩道がないといった課題が多く聞かれ、狭い道でも安全・安心でありたいという意見がありました。

にぎわい・活力

歴史や地形を公民で活かして
朝霞を楽しむ

商店街などの賑わいを高めるだけではなく、膝折宿や坂の多い地形といった、ここにしかない歴史や地理を楽しんでもらいたい、一方で歴史を残していくために公・民が連携する必要がある、といった意見がありました。

自然・環境

市民の手で緑や環境を
もっと良くしていく

緑を増やしたり残したりすることを行政任せにするのではなく、市民ボランティアの力を合わせる、緑だけでなく花を飾って楽しむ、といった参加型で緑の保全・創出を目指す意見がありました。

（4）地域づくりの基本方針

■テーマ「私らしい暮らし」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①歩いて暮らせる駅近な地域づくり（バリアフリー対応／交通手段の確保／ルール作り 等）
- ②駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域づくり（交通利便性の高いバス路線の維持／選択できる移動手段の確保 等）
- ③利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり（自然と調和したまちなみの維持／生活道路の拡幅 等）
- ④みどりに恵まれた穏やかな地域づくり（市街化調整区域での無秩序な開発抑制 等）
- ⑤市民サービスを支える広域型都市機能の充実（誘導施設の誘導／公共施設の集約化 等）
- ⑥地域生活を支える地域型都市機能の充実（都市機能の適正配置 等）
- ⑦既存の土地や建物を活用した柔軟な機能確保（既存ストックのリノベーション／空き家・空き店舗の利活用等）
- ⑧オープンスペースの創出と利活用（リノベーションによる新たな公共空間の創出／公園や広場の利活用／公共空間を活用する人材の支援 等）
- ⑩共創による新たな価値の発掘（官民連携による共創の場づくり 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

③利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり

- G) 膝折町地区に形成されている地域の活力を支える既存商店街における身近な商業環境の充実
H) 栄町地区における幹線道路沿道の商業地の充実
I) 住宅が密集する本町などの地域については、道路や公園などのオープンスペースの確保を図る
J) 膝折の坂にポケットパーク（休憩場所）をつくる

⑤市民サービスを支える広域型都市機能の充実

- K) 基地跡地では、基地跡地利用計画、地区計画に基づく施設整備や土地利用等の整備を図る
L) 基地跡地を市民に開放し、みんなで手入れして使う

⑥市民サービスを支える広域型都市機能の充実

- M) 集まる場所をつくる（個人店やチェーン店でも良く、新しい建物は不要）

⑧オープンスペースの創出と利活用

- N) 駅西口富士見通線やシンボルロード、駅前広場などの既存のオープンスペースの利活用
O) 道路空間を活用したイベントの実施

⑨私らしく働く場、活躍できる場の確保

- P) 朝霞駅周辺における空き家、空き店舗などの既存ストックを活用した、コワーキングスペース等の働く場や、ローカルビジネスやスタートアップ企業を育てる場の創出

⑩共創による新たな価値の発掘

- Q) マンションの交流会を立ち上げる

緑文字：サロンで出された意見で全体構想に位置づけのある取組

青文字：サロンで出された意見で全体構想に位置づけない新たな取組

黒文字：全体構想に位置づけがある地域特有の取組

■テーマ「にぎわい・活力」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①朝霞駅周辺の活気あるまちづくり（イベントの企画者の発掘・育成 等）
- ③誰もが楽しく歩ける空間の整備（駅周辺のベンチの整備／バリアフリー化と交通結節機能強化 等）
- ④工業系地域における、居住環境にも配慮した生活環境の確保（地区計画による建物用途の制限／緩衝緑地等の整備、用途地域の見直し 等）
- ⑤企業と住民で共につくる地域経済の活性化（企業と地元住民の交流支援 等）
- ⑦新たな産業機能の導入（大規模工場跡地の適正な利活用／魅力ある産業の誘致 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

①朝霞駅周辺の活気あるまちづくり

- E) 朝霞駅周辺については、商業業務系利用の促進を図り、にぎわいづくりや安全で楽しい買い物空間づくりの推進
- F) 朝霞駅周辺の駅前広場等の公共空間を活用したイベントの実施
- G) 基地跡地では、地区計画による適正な土地利用の誘導により、朝霞駅周辺と一体的ににぎわいと活力の創出
- H) 基地跡地を市民に開放し、みんなで手入れして使う

③誰もが楽しく移動できる空間の整備

- I) 朝霞駅周辺では一方通行等の交通規制の導入やバリアフリー化等により誰もが楽しく歩ける空間の形成
- J) 朝霞駅南口商店街歩行者天国化

④工業系地域における、居住環境にも配慮した生活環境の確保

- K) 膝折町、栄町地区の工業系地域においては、地元産業が活性化し、また、持続できる環境を確保することにより、持続的な活力の創出を図る

■テーマ「快適な移動」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①幹線道路の整備（都市計画道路や主要幹線道路の整備／長期未整備都市計画道路の計画の見直し 等）
- ②既存道路の改良（既存道路や橋梁の適切な維持管理／交通実態に合わせた道路や交差点の改良 等）
- ③自転車で走りやすい道づくり（自転車通行空間の整備 等）
- ④安全で生活できる身近な道づくり（生活道路の整備／交通安全対策／自転車の乗り方のルールの普及・啓発 等）
- ⑤子どもの未来を守る通学路づくり（通学路における安全対策の充実／歩道橋の維持管理 等）
- ⑥荷捌きと駐車場の適正化（荷捌きスペースの確保／駐輪場や駐車場の適正配置 等）
- ⑦どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実（地域公共交通の充実／目的地までの最後の区間を補う交通手段の確保／シェアサイクルの周知 等）
- ⑧誰もがつまづかないで通れる道づくり（バリアフリー化／ユニバーサルデザイン化 等）
- ⑨人を中心の歩きたくなる道づくり（まちなかベンチの設置／ポケットパークの整備／木陰のある道・休憩施設の整備 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

④安全に生活できる身近な道づくり

- K) 県道朝霞蕨線や地域に整備されている主な市道については、自動車と歩行者及び自転車利用者の分離のための交通規制の検討などにより、地域の生活軸の安全性の確保
- L) 朝霞駅や点在する公共施設へのアクセスルートにおける歩行者空間の確保やバリアフリー化等による安全性の向上

⑤子どもの未来を守る通学路づくり

- M) 小学校周辺の通学路における交通安全対策の強化

⑦どこに住んでいても自由に移動できる多彩な交通手段の充実

- N) 市内循環バスルートの見直し、民間バス事業者への要請、新たなモビリティの積極的な導入等により、誰もが移動しやすい環境の向上

⑨人を中心の歩きたくなる道づくり

- O) 膝折の坂にポケットパーク（休憩場所）をつくる

■テーマ「自然・環境」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①環境配慮の視点からも選択できる移動手段の確保（地域公共交通の利用促進／シェアサイクル等の環境にやさしいモビリティの選択肢の確保 等）
- ②環境にやさしい公共空間の整備（公共施設の屋上・壁面緑化／グリーンインフラの考え方を取り入れた公共空間の整備 等）
- ③環境にやさしい住宅の整備促進（創エネ・省エネ設備の整備促進／長期優良住宅の認定 等）
- ④生き物が集うみずとみどりの保全（公園の水・緑の維持管理／緑地や斜面林の保全／湧き水や河川の維持管理／河川敷の整備、植栽の維持管理／特定生産緑地の指定などによる生産緑地・農地の維持 等）
- ⑤みず・みどりを育てる（公共空間における花壇づくり／水と緑のネットワークの形成 等）
- ⑥みず・みどりの普及（緑・河川を生かしたイベントの実施／生垣設置の奨励／開発事業等における緑化指導 等）
- ⑦協働による景観づくり（景観についての啓発 等）
- ⑧みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導（景観計画の運用／景観ガイドラインの作成 等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

④生き物が集うみず・みどりの保全

E) 黒目川周辺の自然資源の保全とともに、沿川の公園整備や親水性の向上の推進

⑤みず・みどりを育てる

F) 地域の主要施設（鉄道駅、商店街、公共施設、公園など）を河川や道路で結び、街路樹などによる道路の緑化の推進による水と緑の軸づくり

⑦協働による景観づくり

G) 基地跡地や黒目川、広沢の池などのまとまった自然資源や寺社、川越街道膝折宿などの歴史資源をめぐる散策路や自転車ネットワークなど、まちづくり資源としての活用を検討

H) 基地跡地を市民に開放し、みんなで手入れして使う

⑧みずみずしい風景を生かした自然景観への誘導

I) 基地跡地や黒目川沿いにおいては、景観づくり重点地区の指定により良好な自然環境の保全・利活用を図り、朝霞らしい風景を守り育てる

■テーマ「安全・安心」

<全体構想に位置づけられ、本地域でも取り組むもの>

- ①災害のおそれのある地区からの脱却（災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導／災害リスクの低減等）
- ②インフラの強化（上下水道施設の更新・耐震化／道路や橋梁の更新・長寿命化 等）
- ③災害に強い住環境への改善（オープンスペースの創出／防火地域の指定／住宅の耐震化の促進 等）
- ④発災時の核となる防災拠点の形成（震災や水害に対応した避難場所の機能確保 等）
- ⑤避難・救助しやすい道づくり（避難経路の確保／消防車、救急車が通ることができる道路の整備 等）
- ⑥物資や人を運びやすい道づくり（緊急輸送道路の整備／緊急輸送道路の無電柱化の促進 等）
- ⑦日常から災害に備えるまちづくり（ハザード情報の周知／災害時を考慮したベンチ等の導入 等）
- ⑧犯罪の芽を摘む死角のない環境づくり（照度の確保／見通しの向上／空き家の解消／防犯カメラの設置等）
- ⑨自助・共助の体制強化（顔の見える関係づくり／防災まちづくりの推進／地域コミュニティでの連携促進等）

<地域の取組（取組場所が具体的なもの）>

①災害のおそれのある地区からの脱却

D) 近年多発する集中豪雨（ゲリラ豪雨）に関する総合的な治水対策の推進

③災害に強い住環境への改善

E) 木造住宅が密集する地域や狭い道路や行き止まり道路が多い地区については、道路基盤の整備を進めるとともに、建物の不燃化、耐震化などによる防災性の向上を促進し、良好な住宅市街地の形成を誘導

F) 住宅が密集する本町などの地域については、道路や公園などのオープンスペースの確保

⑨自助・共助の体制強化

G) マンションの交流会を立ち上げる

(5) 地域づくりの方針図 (現時点案であり本日のご意見を踏まえ、次回に向けてプラッシュアップします)

